

コロナとの激闘が少しは収まって来たかなと思ったら、今年の夏は酷暑との闘いでしたね。世界の国々でも不穏な動きが頻発し、何だか世の中の流れが年々激しさを増しているように感じるのは僕だけでしょうか。せめてこの年末年始は穏やかな日常が送れますようにと祈るばかりです。

僕は今『サンシャイン・ボーイズ』の全国ツアーで、芝居、芝居の毎日です。ツアーは9月の下旬に始まり、各地でかなりのステージを踏んでから新春の本多劇場公演となります。役者によっては「沢山演ると飽きてしまう」という人もいますが、僕はこれまでステージ数が多い事でその芝居に飽きてしまった事は一度もありません。毎日お客様の顔ぶれが変わり、毎日反応が変わる。そんなスリリングなステージに立って真剣勝負をしようと思ったら、とても飽きている余裕など有りません。

『サンシャイン・ボーイズ』は、世界の喜劇王と言われたニール・サイモンの傑作コメディです。この芝居は2時間以上、ほとんどアイル（佐藤 日作）とウイリー（加藤 健一）の喧嘩のシーンばかりですが、客席はずっとあたたかい笑いに包まれて進行して行き、終幕には大きな感動が押し寄せる。まさに喜劇王ニール・サイモンならではの見事な筆さばきです。

長いツアーのおかげもあり、本多劇場公演では、初演の成果にさらに磨きがかかっている事でしょう。どうぞご期待ください。

加藤 健一